平成２５年度　事業報告

Ⅰ．事 業 概 況

公益法人に移行して２年目となる今年度は、昨年度の言わば手探りでの事業運営に比べ、公益社団法人としての歩みを着実に進める年度となり、宇都宮市をはじめ関係機関のご指導及びご支援を賜り、また会員の皆様には、積極的な就業活動と地域貢献活動にご協力いただき順調に進んでまいりました。

しかし６５歳雇用延長等により、６０歳代の入会希望者の減少と会員の高齢化による退会者が増加するなど、センターを取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。

こうしたなか、就業グループ体制の見直し、トラブル対策研修の実施、適正就業を遵守するための契約内容の点検と改善、安全管理体制の充実、地域貢献活動への仕組みづくりの検討など、組織と事業の両面から公益法人として求められる優先性の高い課題に取り組みました。

また、第３次基本計画『チャレンジしながら進化するセンター』を策定し、これを今後５年間の指針とし、事業の推進に努め、地域住民から期待されるセンターを目指します。

Ⅱ．シルバー人材センター事業

１　就業機会提供事業

（１）　会員の状況

年度当初 1,556 人の会員数でスタートし、ピーク時には 1,684 人にまで達しましたが、年度末会員数では、1,611 人となりました。

入会理由は、生きがい・社会参加が 124 人で全体の 44.8%を占め、次いで経済的理由が 57 人で全体の 20.6%となりました。

退会理由は、病気が 61 人 27.5%、希望する仕事なしが 53 人 23.9%となりました。

年齢別会員構成は、70 歳～74 歳が 573 人 35.6%と一番多く、次に 65 歳～69 歳が 492 人 30.5%となっています。

〔会員登録の状況〕

区　分	当年度（人）			前年度（人）			対比増減（人）			増減率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
入　会	185	92	277	189	65	254	△ 4	27	23	△2.12	41.54	9.06
退　会	150	72	222	223	98	321	△ 73	△ 26	△ 99	△32.74	△26.53	△30.84
会員数	1,135	476	1,611	1,100	456	1,556	35	20	55	3.18	4.39	3.53

〔入会理由〕

内　容	人数（人）	比率（%）
①生きがい・社会参加	124	44.8%
②仲間作り	12	4.3%
③時間的余裕	41	14.8%
④健康維持・増進	39	14.1%
⑤経済的理由	57	20.6%
⑥その他	4	1.4%
計	277	100.0%

〔退会理由〕

内　容	人数（人）	比率（%）
①病気（本人）	61	27.5%
②シルバー事業を通じて就職	3	1.3%
③その他で就職	25	11.3%
④死亡	6	2.7%
⑤転居	8	3.6%
⑥希望する仕事なし	53	23.9%
⑦就業機会なし	17	7.7%
⑧家庭の事情（介護等）	9	4.0%
⑨会費未納	9	4.0%
⑩加齢	31	14.0%
計	222	100.0%

〔年齢別会員構成〕

区　分	60 未満	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 以上	計
男	0	129	361	388	192	65	1,135
女	0	47	131	185	88	25	476
計	0	176	492	573	280	90	1,611

（２）　請負・委任による事業実績

①　受託件数

受注した仕事の件数は、10,553 件でした。内訳は、公共事業 730 件《6.9%》、民間事業（一般家庭含む）9,697 件《91.9%》、独自事業 126 件《1.2%》でした。

②　就業人員

年間就業延人員は、120,971 人でした。年間就業実人員は、1,229 人で就業率は、76.3%となりました。

③　事業収入

受託事業収入は、595,808,381 円となり、前年度との比較では 12,620,342 円 2.2%増の実績となりました。

職群別契約金額の主なものとして１番多かったのは、除草、草刈りなど一般作業群の 270,237,626 円《45.4%》、２番目は駐輪場、駐車場整理など管理群の 202,123,682 円《33.9%》、３番目が植木剪定、毛筆筆耕など技能群の 84,237,301 円《14.1%》、以上の３職群で全体の 93.4%を占めています。

〔事業実績〕

区　分			受託件数			延人員	契約金額（円）			
			新規	継続	計	（人日）	配分金	材料費	事務費	契約金額
技　術			50	5	55	589	2,313,423		208,717	2,522,140
技　能			2,705	30	2,735	11,388	62,882,826	15,149,514	6,204,961	84,237,301
事務整理			590	8	598	3,736	11,757,230	800	1,094,812	12,852,842
管　理			358	33	391	34,190	154,720,813	31,706,174	15,696,695	202,123,682
折衝外交			57	7	64	763	3,301,369		318,280	3,619,649
一般作業			5,286	201	5,487	62,586	238,343,090	9,255,632	22,638,904	270,237,626
サービス			1,193	30	1,223	7,719	18,194,540	262,398	1,758,203	20,215,141
その他			0	0	0	0	0	0	0	0
合計	公　共		664	66	730	40,591	189,383,586	36,954,563	18,728,684	245,066,833
	民間	企業	2,849	166	3,015	53,747	199,160,923	2,121,602	19,268,401	220,550,926
		家庭	6,617	65	6,682	24,552	101,180,625	17,159,960	9,767,224	128,107,809
	独　自		109	17	126	2,081	1,788,157	138,393	156,263	2,082,813
	合　計		10,239	314	10,553	120,971	491,513,291	56,374,518	47,920,572	595,808,381

（３）　一般労働者派遣事業

一般労働者派遣事業は、60 歳以上の派遣労働を希望する会員に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る派遣労働を提供する事業ですが、本年度は求人の申込みがありませんでした。

（４）　無料職業紹介事業

無料職業紹介事業は、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る雇用就業を提供する事業ですが、実績については以下のとおりです。

項　目	求　人	求　職	就　職
件　数	３１件	１４件	１２件
人　数	７８人	３９人	２０人
延人日	４，９６７人日	＊＊＊＊＊＊＊	１，６６５人日

２　就業機会確保事業

（１）　普及啓発事業

会員増強及び就業開拓の一環として、年間を通して「口コミ運動」を展開するとともに、以下の事業に取組みました。

①　ホームページを公開してシルバー事業の内容をわかりやすく紹介し、入会希望者並びに就業機会の一層の発掘に努めました。

②　就業機会創出員・ホームサポート班及び職員等によるＰＲパンフレットを配布しました。

③　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「シニアワークプログラム地域事業」の合同面接会に参加し入会促進に努めました。

④　シルバー人材センター事業普及月間の１０月に、市役所市民ホールで「シルバー人材センターパネル展」（４日間）を開催し、シルバー人材センター事業の普及に努めました。

⑤　シルバー人材センター事業普及月間の１０月に、ボランティア活動を以下のとおり実施しました。又、女性部会のメンバーによる「ぞうきん製作」を行い地域社会への貢献とＰＲに努めました。

期　日	ボランティア内容	参加人員
１０月２１日	河内地域奉仕作業	４９人
１０月２２日	上河内地域奉仕作業	６５人
毎月第４金曜日	ぞうきん１００枚製作 福祉施設へ寄贈	５人

⑥　会報「シルバーだより」を発行し（平成２５年１０月１日）、全会員に配布しました。

⑦　みやシニア活動センターなど高齢者の健康と生きがい作りを推進する団体と連携を強化し、センター事業の周知を図りました。

⑧　女性の入会を促進するため、女性部会による入会促進運動を実施しました。

（２）安全・適正就業推進事業

〈安全就業推進事業〉

会員の就業時における事故防止策を推進するため、安全委員会を設置し、安全就業強化月間の７月と１１月に、委員及び職員による就業現場等のパトロールを実施しました。
また、管理業務に就業する会員を中心に消防訓練を実施し、会員の安全意識の高揚に努め、就業案内や技能講習会等においても安全就業の徹底を推進しました。

内　　要　　等	期　　日　　等	日数・人員
安全パトロール	事務局 7 月 23 日・24 日・25 日 11 月 19 日・20 日・21 日 北部事業所 7 月 23 日・24 日・26 日 11 月 19 日・20 日・22 日	 ３日間 ３日間 ３日間 ３日間
消防訓練	6 月 20 日 (農業改善センター) 12 月 11 日 (農業改善センター) 2 月 26 日 (市営駐輪場班長等)	 １１人 １２人 １０人

【会員事故報告】

上記の取り組みにもかかわらず、下記のように事故が発生しました。「目標」である「事故撲滅」にむけ、各職群班連絡会議において職群班員への周知及び安全意識の啓蒙に努めました。

①　傷害事故　13 件（本年度分　12 件、前年度分　1 件）

②　賠償事故　 8 件（本年度分　 7 件、前年度分　1 件）

〈適正就業推進事業〉

会員及び発注者にパンフレット等でセンター事業のシステムを明示し、適正就業の理解と協力を求めました。

また、就業規約に基づき、継続就業期間が基準を超えないよう複数会員による交代制（ローティション）就業を実施するとともに、就業案内等で交代会員の通知・募集を行うことにより、適正就業の推進並びに公平な就業機会の提供に努めました。

（３）就業開拓事業

① 毎月２回入会希望者を対象とした新入会員説明会を開催し、就業会員の拡充を図りました。

〔平成２５年度事業所別入会者数〕

事務局	北部事業所	計
２５１人	２６人	２７７人

② 職群班会員等による就業先へのパンフレット配布及び、職員による一般家庭へのパンフレット配布を実施し、受注拡大の促進に努めました。

③ 自治連合会へ依頼し、ＰＲパンフレットの自治会全戸回覧を実施しました。

④ 宇都宮ケーブルテレビによる取材（7 月 18 日）を受け、７月下旬に放映されました。

⑤ 職群班（植木・除草・ホームサポート等）を中心に事務局・事業所間の連携を深め、会員が相互乗り入れできる体制づくりに努めました。

⑥ 宇都宮市の委託業務先選定では、随意契約から競争入札への移行が進んでいることから、平成２５年７月２３日に宇都宮市に入札参加資格認定を申請し、平成２５年９月１日に認定されました。新規業務開拓及び継続委託の受注を働きかけ業務拡大に努めました。

⑦ センター事業を広く知っていただくため、以下のイベントに参加し、事業のＰＲを行い、積極的に就業開拓に努めました。

期　　日	内　　要
H25 年 5 月 19 日	フェスタｍｙ宇都宮
H25 年 6 月 15 日	県民の日記念イベント
H25 年 8 月 3 日・4 日	ふるさと宮まつり
H25 年 11 月 2 日・3 日	宮の市
H25 年 11 月 23 日	市民福祉の祭典

（４）社会貢献事業

栃木県若年者支援機構と協力し、様々な課題やハンディキャップを抱える引きこもりやニート等の若者を対象に、多様な仕事の可能性やおもしろさの体験を会得するための中間的就労を支援しました。

作業内容	作業月	回　数	参加延人員
封筒入れ	１０月	２回	６人
封筒入れ	１１月	２回	７人
封筒入れ	１２月	２回	６人

（５）第３次基本計画

センターの設立理念を踏まえつつ、社会経済環境等の変化に適応した事業運営、法人運営の自主財源確保策など、これまでの方法を見直し、新たな目標の設定とその達成に向けた取り組むべき方策を整理して、将来に向けた本センター事業を発展させるための方向を示すため、第３次基本計画を策定しました。

（６）研修・講習事業

① 会員の資質の向上と就業機会の確保を図るため、以下の研修・講習会を開催しました。

講 習 会 名	講 習 日 程	講 習 日 数	参加延人員
接遇講習会	7 月 18・19 日、1 月 29・30 日	4 日間	311 人
植木剪定講習会	1 月 21・22・23・24 日	4 日間	179 人
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ講習会	2 月 26 日	1 日間	10 人
刈払機講習会	3 月 27 日	1 日間	15 人

② 駐輪場管理班、植木班、除草・草刈班等で就業する会員達でグループミーティングを行い、就業におけるトラブル対策等に努めました。

（７）独自事業

会員の就業機会を確保するため、会員の創意と工夫により以下の独自事業を実施しました。

事 業 内 容	延 人 員	個 数	金 額
編みぐるみ創作	180 人	1,618	852,128 円
刃物研ぎ	9 人	11	8,000 円
豆ぞうり創作	80 人	110	34,300 円
七宝焼創作	1 人	1	1,235 円
石鹸製作	253 人	410	185,350 円
門松製作	120 人	88	1,001,800 円
計	643 人	2,238	2,082,813 円

（８）相談・調査事業

① 事務局・事業所において、毎月１回役員による「新入会説明会」後の面談を行い、新入会員の就業相談を行うとともに、毎週月曜日「グループタンポポ」及び「ショート・ジョブ」グループ担当の理事、世話役及び職員が中心となって就業相談を行い、就業機会の提供に努めました。

区 分	年間開催回数	参加人数
本 部	３９回	７９８人
北 部	９回	１０１人
合 計	４８回	８９９人

② 総務企画部会　２回、事業推進部会　１回、女性部会　４回を開催しました。

③ 職群班・地域班リーダーを対象として、長野県長野シルバー人材センター(広域)を視察し、グループ就業及び地域との連携等について、研修を行って参いりました。

３　法人運営

（１）　定時総会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第 34 回通常総会	H25 年 6 月 14 日	議案 1　平成 24 年度事業報告について 2　平成 24 年度決算について 3　定款の変更について 4　理事の選任について 5　役員報酬について 6　事務手続等に係る附帯決議について 報告 1　平成 25 年度事業計画について 2　平成 25 年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

（２）　理事会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第 1 回理事会	H25 年 5 月 10 日	報告 1　専決処分の報告について （平成 25 年 4 月） 2　平成 24 年度事業実績及び業務状況報告について （平成 25 年 3 月） 議案 1　平成 24 年度事業報告について 2　平成 24 年度決算報告について 3　定款変更について 4　理事選任について 5　表彰候補者について 6　第 34 回定時総会の開催について 7　事務手続き等に係る附帯決議について
第 2 回理事会	H25 年 6 月 14 日	報告 1　専決処分の報告について （平成 25 年 5 月） 2　平成 25 事業実績及び業務状況報告について （平成 25 年 4 月分） 議案 1　専務理事の選任について 2　公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について

第３回理事会	H25 年 9 月 12 日	報告１　専決処分の報告について （平成 25 年 6 月～8 月） ２　平成 25 年度事業報告について （平成 25 年 4 月～8 月） 議案１　受託事業等見積基準額の改正について
第４回理事会	H25 年 12 月 20 日	報告１　専決処分の報告について （平成 25 年 9 月～11 月） ２　平成 25 年度事業報告について （平成 25 年 9 月～11 月） ３　社会貢献事業について 議案１　第３次基本計画ついて
第５回理事会	H26 年 3 月 17 日	報告１　専決処分の報告について （平成 25 年 12 月～平成 26 年 2 月） ２　平成 25 年度事業報告について （平成 25 年 12 月～平成 26 年 2 月） ３　地域ニーズ対応事業について 議案１　平成 25 年度収支予算の補正(第 1 号)について ２　平成 26 年度事業計画について ３　平成 26 年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて ４　役員選考委員会の設置について ５　重要な職員の任免について

（３）　監査の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
監　査	H25 年 4 月 30 日	平成 24 年度事業報告及び決算の監査について

（４）　行政等指導

年　月　日	内　容
H25 年 12 月 2 日	厚生労働省栃木労働局による『補助金に係る経理事務指導』
H25 年 12 月 2 日	栃木県シルバー人材センター連合会による『個別指導』

Ⅲ．　事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。